臺灣日日新報　昭和十六年六月十六日（月曜日）　第一万四千八百二十三號　（一）

汪精衛國民政府主席訪日の途へ　南京飛行場出發に當り送人の見送りに應答する汪主席

清鄉工作に協力し
日支協力を具體化

中支軍當局談

【上海十五日發同盟】國民政府の汪主席を始め陳公博、陳春圃兩氏一行は十五日中支に於ける清鄉工作の實地視察を終へ午後一時上海に歸着した、一行は直ちに虹口の日本軍部に赴き軍當局者と會見し中支に於ける清鄉工作の現況に關し懇談した、中支軍當局談　軍は近く國民政府と協力し華中の一定の地域に於いて清鄉工作を實施することになつてゐるが、本工作は單なる治安の確立と民衆の福利增進に資し又これに伴つて國民政府の統治力を確化する點を目標とするので、而してその工作が先づ一定の地域内に實施された曉は右の目的の下に一層國民の總意を結集せんとする帝國政府の訓令は十四日夜到着した、依つて汪主席は近く蘭印政府に對し回答をなすものと見られるが回答の方針に基き汪主席代表に對する帝國政府の訓令は十四日午後の如く發表された

日獨伊三國條約に
クロアチア國參加
ヴエネチアで議定書調印

【ローマ十四日發同盟】イタリア外務省は十四日チアノ外相がベルリン、クロアチア國主席及びリツベントロップ外相とともにヴエニス（伊三國間條約に關する議定書調印の地）に向つたと發表した、チアノ外相は十四日ザグレブを出發ヴエネチアに向つた

【ヴエニスチア十四日發同盟】チアノ外相、マツケンゼン獨大使館參事官ヒスマルク侯、ベリック、クロアチア駐伊全權ルコヴイチアに到着した

【ベルリン十四日發同盟】リツベントロップ獨外相は十四日ベルリン發クエネチアに向つた、その目的はまだ發表されないが重要の談話が行はれるものと見られてゐる

【ベルリン十四日發同盟】獨外務當局はリツベントロップ外相の今回の訪伊が日獨伊三國條約の發展であることを示唆し今回の訪伊は日獨伊三國條約に關するものと解されてゐる

【ベルリン十四日發同盟】獨外務當局はリツベントロップ外相が十四日ベルリン發飛行機にて獨伊國境に向つたことを發表した

【ローマ十四日發同盟】伊外相の訪伊はクロアチアの獨立に關するものと解されてゐる

【ベルリン十四日發同盟】獨外務當局はリツベントロップ外相の今回の訪伊が日獨伊三國條約の發展であることを示唆し今回の訪伊は日獨伊三國條約に關するものと解されてゐる

【ベルリン十四日發同盟】リツベントロップ獨外相は十四日ベルリン發クエネチアに向つた、その目的はまだ發表されないが重要の談話が行はれるものと見られてゐる

【ベルリン十四日發同盟】獨外務當局はリツベントロップ外相の今回の訪伊が日獨伊三國條約の發展であることを示唆し今回の訪伊は日獨伊三國條約に關するものと解されてゐる

【ベルリン十四日發同盟】獨外務當局はリツベントロップ外相が十四日ベルリン發飛行機にて獨伊國境に向つたことを發表した

【ローマ十四日發同盟】伊外相の訪伊はクロアチアの獨立に關するものと解されてゐる

【ローマ十四日發同盟】イタリア外務省は十四日チアノ外相がベルリン、クロアチア國主席及びリツベントロップ外相とともにヴエニスに向つたと發表した、チアノ外相は十四日ザグレブを出發ヴエネチアに向つた

【ヴエニスチア十四日發同盟】チアノ外相、マツケンゼン獨大使館參事官ヒスマルク侯、ベリック、クロアチア駐伊全權ルコヴイチアに到着

新史蹟と天然紀念物

臺灣の特殊な自然
學界に貴重な好資料

日比野教授談

新竹では民衆の間へ新史蹟と共に天然紀念物を知らせたいと指示、十四日州廳において集まったかたがたにつき講話会が此の日比野教授に依頼を乞う

臺灣の天然紀念物保存の仕事は言ふまでもなく極めて重要なものであるが、殊に臺灣の地質が學術上極めて貴重なものであるだけに此の仕事は一日も早く完成されなければならない、此の中には日本部内の他の地方には見られない特殊なものが多くあるばかりでなく學界の研究資料としても貴重なものが多くある、此の意味に於て臺灣の天然紀念物保存

上野動物園御成り

水棲動物を御興深く台覧

【東京發同盟】皇太子殿下には御誕生後初めての御成りとして十六日午前十時二十分御着、先づ水棲動物室に入らせられ、ペンギン鳥から鰐まで各種の水の小動物に特に興深く御覽遊ばされ、次いで猛獸室に入らせられ、ライオン、虎、豹、熊、狼、狐等の猛獸に就いて飼育係から御説明を申上げた、皇太子殿下には山羊、羊、猿、鹿、駱駝、ラマ、象、河馬、犀、麒麟、駝鳥、鶴、鸛、鷺、鴛鴦、鸚鵡、孔雀、鷲、鷹、梟、鳳凰、鴨、鵜、鷗、鵞鳥、鶏、鳩、雉、鸚鵡、鸚鵡、鸚鵡

各地版

臺中臺南兩州下の國語普及熱に驚いた
西部地方の視察を終へ風早要塞司令官談

先般參北に開かれた臨時議會に出席しその際參事會員を以て組織して勝つた視察團は十二日午前七時の汽車にて參北を發つた

今回視察した感想に就ても、參事會に於ける其の感想を述べるとともに、今回視察した地方の人士に對する感謝の意を表するものであるとて、その要旨次の如く發表した

臺灣本島を未だ嘗て見たことがないので、今度の視察を好機として、臺中、臺南、臺東、阿里山、屏東と二週り餘に亘つて來た、先づ是れで臺灣の大體に通じた譯であるが、此の短い間の事とて、深く研究する餘裕もなかつたが、一應は各地の實情を知ることが出來たと思ふ、殊に國語普及熱の旺盛なのには驚いた、國語普及の點に於ては、參北の如きは寧ろ遲れて居るとさへ思はれる程である